

柳之御所遺跡公開へ 平泉調査整備指導委

2009年度第1回平泉遺跡群調査整備指導委員会が7月16、17日の2日間、当町で開かれました。初日には柳之御所遺跡や無量光院跡で現地指導を行い、2日目は平泉文化遺産センターで柳之御所遺跡の整備復元などについて協議しました。

委員10人が出席。2日目の協議では、来年春に予定されている柳之御所遺跡の暫定公開に向け、堀跡、便所遺構、井戸跡、屋外解説板、地形模型の整備などについて意見を交換し、将来的な中心建物復元の基本方針をおおむね了承しました。



鉄道沿線からの森づくり植樹記念

平泉駅構内に12種200本 鉄道沿線森づくり植樹

JR平泉駅構内で7月11日、JR東日本盛岡支社主催の「鉄道沿線からの森づくり」が行われました。JRグループの関係者と地域住民ら約90人が、シダレザクラなど12種類計200本を植樹しました。

高橋町長、福田泰司同支社長らによるシダレザクラの記念植樹に続き、参加者がエドヒガン、ヤマブキなどを植えました。

植樹活動は同支社が、環境に優しい企業を目指して平成4年から実施。当町で行われるのは昨年に続き2回目です。



親子で楽しい夜を過ごす 保育所、幼稚園で夕涼み会

長島保育所で7月17日、平泉保育所と平泉幼稚園で25日、夕涼み会が行われました。

このうち長島保育所では、金魚すくいやヨーヨー釣り、当てくじなどのお店が園庭に並び、子どもたちで大盛況。キャンプファイヤーやダンスなどを夜空の下で親子仲良く楽しみました。



世界遺産へ弾み 平成百景に選定

読売新聞社が読者投票を基に選定した新時代の景観「平成百景」に、県内から「平泉」が選ばれ、認定証が森本雅司同新聞東京本社盛岡支局長から町長にこのほど手渡されました。

町長は「新時代にふさわしい景観を持ち合わせるまちとして選ばれたことは光栄」と歓迎しました。

演目華やかに奉納 小島神社の例大祭



小島神社（通称・山王様）の例大祭が7月25日と26日の両日、同神社境内で盛大に開催されました。

五穀豊じょうや家内安全などを祈願する同例大祭。前夜祭の25日には、今年担当した田頭地区の人たちが、25の多彩な演目を奉納。春から懸命に積んできたけいこの成果を華やかに披露しました。

会場に詰め掛けた大勢の観客は、出演者の芸達者ぶりに盛んな拍手、声援を送っていました。



歴史と文化を楽しく学ぶ わくわく平泉学スクール

町内の小中学生が平泉の歴史と文化を学ぶ「わくわく平泉学スクール」の21年度講座が6月から、各校3回ずつの日程で開かれています。

平泉中では1年生が6月24日、7月1、7日の3日間、毛越寺で座禅、無量光院跡で発掘作業、役場で写経を体験しました。このうち発掘体験では、町文化財調査員の指導の下、かわらけの破片などを発掘。平安時代の平泉に思いをはせながら、歴史と文化を楽しく学んでいました。



登録にふさわしいまちへ 町内全域で環境整備活動

平成23年に「平泉の文化遺産」が世界遺産に登録されることを目指し、ふさわしい環境にしようと7月5日、町内全域で環境整備が行われました。

個人や行政区、各団体、事業所が住宅周辺、道路、公園などで草刈りやごみ拾いに汗を流しました。このうち、高館橋西側下の平泉水辺プラザ周辺では、町民農園を借りている町民約40人が、北上川右岸の雑草を約1時間の作業できれいに刈り取りました。